

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 吉原 孝彦  
幹事 出口 達也  
会報委員長 佐野 彰彦

2017 ~ 2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2991回例会プログラム

[当年度=17回目; 当月=4週目]

2017年(平成29年) 11月27日(月)

## 1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……………日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(12/4) ……

新入会員アワー 山内 得次 会員  
" 市川 紀征 会員

(12/11) ……

クラブ総会  
次年度理事役員選出

## 2. クラブ協議会

## 3. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリー財団 次の100年に向けて」  
講師 地区資金管理委員会  
副委員長 神谷 研 様 (安城 RC)  
(紹介者 内藤 昇 会員)

13. 謝辞  
14. 点鐘……………〈会長〉  
15. 閉会宣言  
13:30 16. 散会

## 出席

会員総数 94名 出席免除 25名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名  
欠席 12名 出席率 86.04%  
前々回 (11/6) の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 11月23日刈谷市司町カリモク家具株式会社、ツカサの森にて植樹を行いました。



- 2) 11月23日西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が開催され、団体で準優勝となりました。  
3) 同時開催の11月ゴルフ例会では池田憲司会員がグロス112ネット79で優勝されました。

## 委員会報告

## ●親睦活動委員会

- 1) 本日「JAZZの夕べ」を開催します。

## 財団の父 アーチ・クランフ

吉原 孝彦



アーチ・クランフは「財団の父」と言われ、ロータリーをこよなく愛した人ですが、貧しい少年時代を経て実業家になった方で、市民の指導者、フルート奏者としても有名でした。

1869年6月6日にペンシルバニア州コネチカットの貧しい家に生まれました。父は田舎の出ですが、母は有名なアメリカの小説家ジェームズ・クーパーの子孫でした。彼は人生の大部分をオハイオ州クリーブランドで過ごしました。

12歳の時に家計を支えるために学校を退学しましたが、社会福祉施設で夜学に通い独学しました。18歳でクリーブランドのキューヤホガ製材所に1日1ドルの給仕の仕事に就きましたが、28年後には出世してその会社の経営者となり、他にも製箱会社や銀行の社長、不動産や汽船会社の副会長でも活躍しました。

彼は優れたフルート業者でもあり、クリーブランド・シンフォニー・オーケストラで14年間も演奏する傍らマネージャーとしても活躍しました。

ロータリーでは、1911年クリーブランド・ロータリークラブにチャーターメンバーとして入会し、1912-13年度会長に就任。1914年には国際ロータリーの理事になり、1916-17年度のRI会長になりました。

彼はRI理事の時代に国際ロータリーの新定款を起草する委員会委員長となり、標準定款・細則を作成し、地区を設け、地区ガバナー職をつくり、年次地区大会を確立させました。

彼は「寝ても覚めてもロータリー」と評される人間でいつも将来に目を向けていました。

1951年6月3日、アーチ・クランフは、その存命中に自分の創設したロータリー財団が着実に育っていく姿を見ながら死去しました。

## 「ロータリー財団 次の100年に向けて」

地区資金管理委員会

副委員長 神谷 研 様



昨年度は、「国際ロータリーのロータリー財団」が設立されて100年という記念の年でした。この記念の年に刈谷ロータリークラブ様におかれましては、クラブ会員お一人当たり

平均年次基金寄付額213.90ドル（地区内平均185.60ドル）と併せて恒久基金へ15,000ドルという多額のご寄付をしていただきました。僭越ながら、昨年度の服部ガバナーに成り替わって、心よりお礼を申し上げます。

本日の卓話の内容は、次のとおりです。①ロータリー財団100年の歴史『人々の心に触れた100年』という動画（4分33秒）を放映します。②ロータリー財団は101年目を迎え今後どうあるべきか説明します。③年次基金と恒久基金への多額のご寄付と WFF へのご協力に対し謝辞を申します。④ポリオ撲滅まで『あと少し』と迫ってきました状況を踏まえ、ポリオに対しロータリーがどのように関わってきたか、今後はどのように取り組むのか。まだポリオ撲滅のためにまだ多額に資金が必要である現状を訴えご支援を要請し、ポリオ撲滅宣言に向けた取組みを紹介します。⑤緒方貞子さん（元国連難民高等弁務官）や中満泉さん（国連事務次長）という国連の場で活躍されているロータリー奨学生、2015年以降のグローバル補助金奨学生並びに当地区から4年連続で輩出できましたロータリー平和フェローを紹介し、ロータリー財団が今後も変わらず取り組む若く優秀な人材への支援を説明します。⑥最後に、ロータリー財団へのご寄付は今後も続く「世界でよいことをするための貯金」であることを理解していただくよう説明いたします。

ロータリー財団は101年目を迎え、新たな歴史の1ページを刻んでいます。世界約120万人のロータリアンが“多くの助けを必要としている人を笑顔にする”奉仕団体、それがロータリーです。その一助となっているのがロータリー財団です。この先も『世界でよいこと』をし続けていきたいと思います。

## クラブ協議会

米山記念奨学委員会委員長を理事にする事の承認の件で全会員の承認を得ました。

## 健康診断



## 11月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成29年11月23日(木)

於：葵カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	池田 憲司	112	33	79
2位	奥野 櫻子	86	7	79
3位	磯部 一智	84	4	80
B B	吉原 孝彦	111	15	96

